

(別紙2) 第6次塩竈市長期総合計画進捗報告会 自由記載

1.しおがま未来創生プロジェクトについて

1	<ul style="list-style-type: none"> ・人口増加の戦略思考の点から保育（英語教育、子供の体力作り）を充実させていただきたい等、全体的なマップを意識していただきたい。 ・門前町のような価値資源は原風景にこだわり、アンケートもその視点からとって分析してほしい。 ・研修も可能性がある。
2	<p>掲げた「機動的・横断的に取り組む」ための体制構築、庁舎内の機運醸成、理解促進を地道に進めていくべきである。内部での勉強会も必要であろう。全体としては、アンケートによる数値はあがっていることが確認され、評価は出来るものの、期待を込めて回答しているであろうことから、一つ一つ関連事業を確実に進めることに留意して欲しい。</p> <p>いずれは、機動的に動いた事例や横断的に取り組んだ（結果として横断的になった）事例などが紹介されるとよい。</p> <p>進捗報告会では、役場庁舎やゴミ焼却施設といった、施設の老朽化とその整備策に関することも話題となった。都市計画の分野では、これまで拡張・拡大一辺倒の開発方針が展開されてきたところ、縮減も見据える必要性が近年強力に議論されている。</p> <p>しおがま未来創生プロジェクトは、ソフト面での対応がポイントとなっているが、ハード面となると、やはり国の予算をとるなど財源の確保が不可欠であり、そのための計画策定など、戦略的に取り組む必要がある。</p> <p>総じて、機動的、横断的に対応する必要が出てきており、アイデアが醸成され、議論が活発化するための役所内の仕組みの構築は不可避であろう。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・実績値や目標値の算出根拠や裏付けがいまいち分からないが、（特に市外居住者の評価200件ほどのwebアンケートで判断できるか疑問ではあるが）とにかく「前進」していることはうかがえて、意を強くする。最新の調査、データを注視したい。 ・現役記者時代からかねがね、塩竈の「まちづくり力」「まちおこし力」に注目してきたが、私自身の最近の見聞からでも、みなと祭の活気、前夜祭のにぎわい、仲卸市場などのイメージアップ、協働まちづくり提案事業で提案される地域での各種取り組みなどを見ても、世代を超え世代を引き継いでのまちづくり力の伝統を実感する。それを継続、盛りたてる施策を行政に期待する。
4	<p>昨年度実績値として判明した「にぎわい実感プロジェクト」について、22%という目標値を上回るものになったことは、さまざまな事業が実を結んでいるようで大変素晴らしいことと思います。事前説明において頂戴した回答者の居住地の内訳を拝見しても、近隣二市三町以外からの回答が8割超からの回答ということなので、仙台市等からの移住について好印象であることは興味深いものでした。</p> <p>以下、個人的な意見となりますが、アンケートの設置について、近隣市町村に協力を依頼した結果ということでしたが、市外特に県外からの訪問が多い場所・タイミング等も設置の候補として一考いただくと、さらに別の角度からの意見が見られるのではないかと考えます。例えば初詣、みなと祭りの際の駅や壱番館一階（本町側への窓）への掲示や、市内の飲食店等、塩釜高校の市外通学者やふるさと納税の返礼品への同封なども一案としてご検討頂ければ幸いです。</p>

2.成果指標について

1	<ul style="list-style-type: none"> ・やがて長期、今、過去を人を主体にデータをとれるようになっていくといい。
2	<p>「塩竈らしい100の暮らし」をもとに、関連事業や成果指標を設定したことは、ユニークであり、市民参加型のまちづくりにおける特徴的な事例となり得るものである。一方で、これを施策に当てはめると、堅いイメージになってしまうことも事実であり、数値での表現が難しいこともわかってきている。常に、どうすれば、この仕組みを活かせるかの議論をしていきたいところである。</p> <p>資料4の進捗状況からは、殆どの数値が前年を上回っていることが確認され評価できる。市民報告会の場などでもこの状況を伝えるとともに、数値上では見えてこない、課題抽出は常に必要となる。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・半数以上が基準値を上回り、2割が目標を達成しているのは、素直に評価する。日常の地道な努力が必要だろうが、ぜひ市民ぐるみで取り組んでほしい。塩竈にふさわしい言葉は「量より質」と思う。 ・個々の成果で特に注目、評価するのは1-9（子供の地域行事への参加）、2-3（認知症サポーター講座）、3-7（空き家利活用）、3-11（家庭ごみ排出量）、4-2（地元食材活用のイベント）、8-2,6,7（浦戸の新規定住者、地域おこし協力隊、島外からの集客）など。逆に気がかりなのは1-7,8（授業の内容やいじめに関する児童生徒の対応）、4-3（水産輸出出荷量）、8-4（ふるさと納税返礼品の浦戸産品）、など。

	<p>・分野1 NO1 - 6 児童相談最終件数について、R4年度や目標値と比較しても十二分に上回っていることは大変素晴らしいと感じる。件数自体の増加は児童相談の増加を表していると考えるが、相談へのハードルが下がっているのか不明であるが、そうであるならば、その取組等も評価に値するものである。</p> <p>・分野2 NO2 - 4 「障がいのある人もない人も共に安心して暮らせる福祉の街づくり条例」の認知度について、昨年度の障害者週間に合わせた市報等での周知もあったが、年間を通した周知（市バス優先席付近及び公共施設エレベータ等への掲示など）が不足しているように感じた。</p>
4	<p>・分野3 NO3 - 2、3 - 3及び3 - 5について、目標値に向けて進行していることがお見受けできて、素晴らしいと感じる。一方、NO3 - 8の伊保石公園休日来園者数について減少しているように見えるが、これは明確な理由等が判明しているのか気になる。例えば酷暑により夏の来園者数が減少していることが原因等であれば、目標自体の修正も必要かと考える。</p> <p>・分野4 NO4 - 1及び4 - 2について、令和4年度と比較して目標値へ随分近づいていると感じる。4 - 2については一市民としてもよく周知されている実感をもっていただけのため、維持あるいは更なる増加があることを期待する。</p> <p>・分野7 NO7 - 5 「市の情報を市のSNSで知る」と回答した市民の割合について増加しているに伴い、LINE等での情報発信を地方公共団体プランを利用するなどして更に利便性を向上させるなどを一考いただけますと幸いです。</p>

3.個別事業

(1) 塩竈市就学前教育・保育施設整備等補助事業

1	<p>1. 共働き世帯の勤務先にフィットした立地を考慮していただけるとよい。⇒引き続き調査を期待。</p> <p>2. 英語教育の接続性の点から戦略的活用（親世帯の引越しの目的化）を考慮していただきたい。</p>
2	<p>保育サービスの民間導入により待機児童数の減という効果が出ている。</p> <p>保育内容も、語学力や体験学習などによる生きる力を育む事業者への委託となっており、民間活力導入の効果が出ている。今後は、これらの施設の人気上昇により、この施設を希望することによるこれまでとは逆の待機が発生することが想定されるので、調整策の検討を進めておくべき。</p> <p>病児保育への挑戦も評価できる。一方で、保育するスタッフの感染が想定されるので、対応を検討しておくとういと思われる。</p>
3	<p>R6年度の就学前児童数の増加や待機児童数ゼロの達成は嬉しい。子育てしやすい街をもっとPRしていい。新設の保育園の中で特にバイリンガルをうたう園の取り組みに注目。</p>
4	<p>待機児童を0人にするとともに、特色ある保育施設等を選択することが可能になることはとても素晴らしいと思う。今後はさらにサービス面での更なる向上として、おむつ定額制の導入拡大なども期待する。これらは塩竈市の魅力として十分に武器となりうる点だと考えるため、更なるPRが行われることを期待する。市のHPに「保育施設について(保育所等一覧)」があるが、預かり保育の有無などさらに詳細な情報を一覧として閲覧できるようなものがあると良いと考える。また、子育て世代のみではなく、移住等のPR内にも含めていただくことも検討していただきたい。</p>

(2) 門前町活性化事業

1	<p>1. 原風景の高品再現を期待。→鹿児島県川内市甕島参考</p> <p>2. なりわいづくりから観光地ではなく目的地づくり</p> <p>3. 商品戦略の再考</p> <p>など、可能性があるのでは。</p>
2	<p>門前町活性化に関しては、私自身、ファシリテーターとしてまちづくりワークショップに関わっており、その進捗を後押ししている。2年間のワークショップを通して、初年度は、主に、地域関係者の意識の把握とビジョン作成を行い、2年目は、ほこみち制度の活用を念頭においた社会実験を実施したことは評価されて良いと思う。今後は、データを基にしたソフトコンテンツの作成とほこみち制度の指定を目指したアクションが重要になる。ほこみち申請は、仙台市の定禅寺通りでも2か所の設定であり、塩竈市においても、まずは全線ではなくポイントを決めて確実に設定し、地域住民の信用を得て、住民参加につなげていく段階である。</p> <p>なお、拠点整備は慎重に進めたほうがよく、市の財源や公共施設維持の観点も念頭において進められたい。</p>
3	<p>「門前町ミーティング」や「門前町カフェ」などの取り組みはユニークで有意義。どれだけ幅広く商店街や市民を巻き込む活動にできるかが勝負。予算規模がチト寂しい。ボランティアや善意にだけ頼らなくてすむ展開を期待したい。</p>

4	面白い取組であり、学生さんならではのアイデアや活動ができていることは非常に興味深い。一方、塩竈市としてのサポートが少ないため、効果として十分に発揮されていない印象を受ける。ただ、予算面等は試験的だったため、少額であったというお話もあったので、今後に期待している。また、駅前への掲示等として、駅前から塩竈神社への動線の案内が少ない印象があるため、もう少し、戦略的に動線を誘導してもよいのではないかと。
---	---

(3) アートプロジェクト事業

1	1. アートの可能性をもっと深掘りできるのでは？ 2. アートから①これから②未来（大人）の確認（心）ができるのでは？
2	アートプロジェクトに関しては、小中学校への導入が確実に進んでいることの評価が出来る。一方で、この事業は、塩竈市におけるまちづくりの核と成り得るものであり、市全体への広がりが期待されるコンテンツである。港町とアートの相性は良く、いずれはまちづくりに生かされることを期待したい。
3	いかにも「塩竈らしい」ユニークな取り組みと評価する。特に子供たちが自主的に参加し楽しんでいる様子が好ましい。「アート」は今度の塩竈のキーワードになりうる。継続し拡大発展させる施策をぜひ。
4	アートに触れる機会を子どもたちに提供するよい事業だと思う。一方、内訳を見ていないため一概に申し上げられないが、事業内容における予算が多い印象を受けた。また、屋上アートプロジェクトについては市内の保育園児及び小学生に周知したということだったが、壱番館やエस्पなどにくる幼児への周知や、中高生も幅広くターゲットとしてよいのではないかと考える。特に中高生においては所謂SNS映え等の効果もあり、よいターゲットとなるのではないかと考える。

(4) 国際交流事業

1	1. 現地プログラムに工夫を（まちづくり）等 2. 塩竈に残る人をつくるのか？（出ていく）優秀な人をつくるのか？
2	非常に有益な事業であることは資料からわかったが、ちょっと勿体ない気がする。 まずは、見せ方（広報やブランディング）を工夫することが必須と思われ、参加生徒らにこの研修事業のネーミングを考えてもらうことはどうだろうか。 あと、塩竈の人材育成という意味では、フォローアップが重要になる。アフタースクール（同窓会）を実施するなどして、関わり続ける方策を考えるとよく、また、OBOGが、事前研修などで話すことも効果的であろう。上記改善の期待をこめて低評価としている。
3	中学生にとっての国際交流の大切さは理解できるし、隣国韓国との交流も意義深い。単なる観光旅行にならぬよう「相互交流」の実質を追求してほしい。協力する企業や機関の役割も明確に。
4	政策の目的である、「みんなが主役になれるまち」を目指すのであれば、少人数のみ参加できる海外研修ではなく、多くが参加できるような国際交流事業を行った方がよいのではないかと考える。また、海外研修を行うのであれば、より多文化が共生している地域及び国を選択することがよいかと考える。

(5) 浦戸再生プロジェクト推進事業

1	1. 稼げる島にするため、地域おこし協力隊に 2. メンター（起業を教える）をつける 3. 明るい浦戸づくり
2	浦戸のプロジェクト名称は、再生とあるが、どのように再生するかを青写真（ビジョン）を描くことが必要ではないだろうか。その際、参加型のワークショップで作成すべきである。 上記の門前町事業は、名称は活性化であるが、これも門前町再生事業なのであろう。 この2つの再生プロジェクトは、重い課題ではあるが、塩竈の最大の売りであることも確かである。 2つの再生プロジェクトには、門前町ならこれ、浦戸ならこれ、というコンテンツの創出が求められている。 秘めるポテンシャルが高い地域資源であり、その活用を期待をこめて低評価としている。
3	浦戸は島民や市民だけでなく、県全体、地域全体の“宝”と思う。あらゆる方策を使って浦戸の再生、「島の生業につながる事業」の展開に期待。定着しつつある地域おこし協力隊の活動にも注目。「震災復興」の視点も忘れずに。
4	浦戸内部及び外部との交流を深める取組として、HP・SNS等を活用した情報発信等がされているが、最近では確かに多くの情報が目につく他、他市町村からの来島も多くなるとの報告もあったため、効果が目に見えるようになっている。一方で来島後の観光客らの対応の中心は浦戸の住民の皆様ということだが、高齢化が進む中、一任してしまうには難しいところもあるため、地域おこし協力隊のお2人以外での対応方法も検討していただきたいと考える。